スポーツ庁
JAPAN SPORTS AGENCY

# 【長崎県長与町】
# 令和５年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業
# （運動部活動の地域移行に向けた実証事業）

| | |
|---|---|
| 自治体名 | 長崎県長与町 |
| 担当課名 | 学校教育課 |
| 電話番号 | 095-801-5681 |

# 1．自治体の基本情報

## 基本情報

| | | | |
|---|---|---|---|
| 人口 | 39,936人 | 部活動数 | 46部活 |
| 公立中学校数 | 3校 | 市区町村の協議会・検討会議等の設置状況 | 設置済 |
| 公立中学校生徒数 | 1,077人 | 市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況 | 策定済 |

## 地域連携・地域移行における長与町の現状・課題

【現状】
・令和5年度から町立中学校３校すべての休日の運動部活動を地域スポーツ活動へ移行
・地域スポーツ活動の運営は、特定非営利活動法人総合型SC長与スポーツクラブが運営
・12種目（卓球、陸上、サッカー、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、硬式テニス、軟式野球、柔道、剣道、弓道）21活動を実施
・令和5年度は参加者は351名～544名で、指導者124名（大学生33名を含む）を確保
・参加者は種目に関わらず月会費3,000円を受け皿の長与スポーツクラブに支払い参加
・活動場所は町立中学校のグラウンド、体育館等の運動施設で実施

【課題】
・受け皿基盤強化：持続可能な運営ができる事務局体制の整備
・人材確保：指導者の質の向上（資格取得）、指導者が不足する種目の指導者確保
・財源確保：月会費だけでは赤字経営となることから、持続可能な財源確保
・意識改革：大会中心から楽しみ中心へ、生涯にわたってスポーツに親しむ環境づくり

●長与町立小・中学校の児童・生徒数一覧（令和5年5月1日時点）

| 長与町立小・中学校 | 児童・生徒数 | 計 |
|---|---|---|
| 長与小学校 | 846人 | 2,352人 |
| 高田小学校 | 311人 | |
| 洗切小学校 | 262人 | |
| 長与北小学校 | 296人 | |
| 長与南小学校 | 637人 | |
| 長与中学校 | 538人 | 1,077人 |
| 長与第二中学校 | 356人 | |
| 高田中学校 | 183人 | |

# 1．自治体の基本情報

## 令和３年度、令和４年度の実践研究等、この取組に着手する中で、大小様々な課題に直面

- 受け皿は必須。しかし、これまでの運営基盤では弱い。
- 指導者は必要。しかし、数も質（有資格）も十分ではない。
- 月会費は家庭の経済格差に配慮し、廉価に設定。しかし、運営には相応のお金が必要。
- 部活動から地域スポーツ活動への意識改革が必要。しかし、大人は変わりにくい。

## 地域連携・地域移行における長与町の現状・課題

**課題**

### 受け皿基盤強化
- 事務局長・事務員確保
- 事務局運営財源確保
- 確実な会計処理

### 人材確保
- 指導者の確保と育成
- 無資格 → 有資格

### 財源確保
- 月会費だけでは運営できない
- 国・県・町からの委託
- 助成金・補助金・企業版ふるさと納税他

### 意識改革
- 大会中心 → 楽しみ中心
- 学校 → 地域
- 無料（無償）→ 有料（有償）

## 令和5年度の実証事業では、上記課題に対して、教育委員会、長与SC、学校の関係機関が連携して取組を推進

- **「事務局体制、受け皿の基盤強化」**に向けた取組の推進
- **「指導者確保、指導者の質向上」**に向けた取組の推進
- **「財源確保」**に向けた取組の推進
- **「楽しみ中心、生涯スポーツ」**に向けた取組の推進

# 1．自治体の基本情報

## 運動部活動から地域スポーツ活動への段階的な移行

| 種目 | 運動部活動 | | | 地域スポーツ活動 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 長与中 | 第二中 | 高田中 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 |
| 卓　球 | 男　女 | 男　女 | 男　女 | ◆融合教室 | ●7月～実践研究※ | | 4月から休日の12種目を地域スポーツ活動として実施 |
| バスケット | 男　女 | 男　女 | 男　女 | | | ●6月～実践研究 | |
| バレー | 男　女 | 女 | | | | ●8月～男、12月～女 | |
| バドミントン | 男　女 | 男　女 | 男　女 | | | ●R5.3月～男女 | |
| 陸　上 | ○ | ○ | ○ | | | ●10月～合同練習 | |
| サッカー | ○ | ○ | ○ | | | | |
| 軟式野球 | ○ | ○ | ○ | | | | |
| ソフトテニス | 男　女 | 男　女 | 男　女 | | | ●11月～合同練習 | |
| 硬式テニス | | ○ | ○ | | | ●12月～合同練習 | |
| 柔　道 | ○ | | | | | | |
| 剣　道 | ○ | ○ | | | | | |
| 弓　道 | ○ | | | | | | |
| ラグビー | ○ | | | ○町クラブ | | | |

※対象は長与中学校

# 1．自治体の基本情報

## 長与町地域スポーツ活動の種目・活動・参加者・指導者数

| 種目数 | 活動数 | 参加者数 | 指導者数 | （内　兼職兼業） | （内　大学生） |
|---|---|---|---|---|---|
| 12 | 21 | 350～550 | 124 | （20） | （33） |

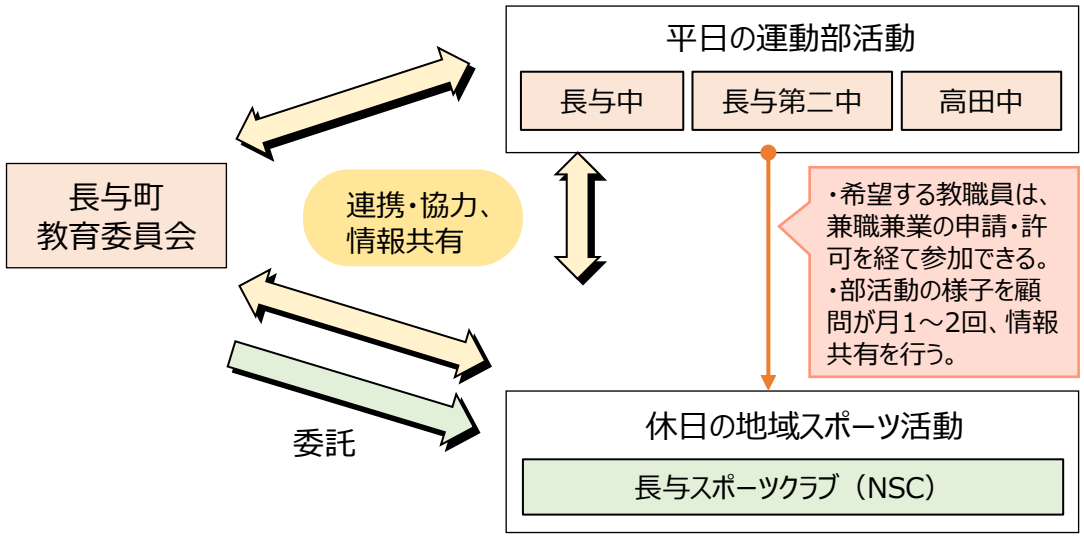
## 種目別の指導者数・参加者数（令和5年12月末時点）

| 種目 | 卓球 | 陸上 | サッカー | バスケットボール | バレーボール | バドミントン |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 活動の様子 |  |  |  |  |  |  |
| 指導者数 | 12名、3名 | 6名(4)、４名 | 8名(4)、3名 | 5名(2)、1名 | 6名(3)、4名 | 13名、5名 |
| 参加者数 | 32名（男14、女18） | 28名（男17、女11） | 35名（男33、女2） | 52名（男33、女19） | 30名（男17、女13） | 66名（男31、女35） |
| 種目 | ソフトテニス | 硬式テニス | 軟式野球 | 柔道 | 剣道 | 弓道 |
| 活動の様子 |  |  |  |  |  |  |
| 指導者数 | 16名(2）、3名 | 6名(1）、6名 | 4名(2)、1名 | 5名(2) | 6名、1名 | 4名、2名 |
| 参加者数 | 52名（男27、女25） | 13名（男6、女7） | 12名（男子のみ） | 7名（男子のみ） | 1名（男子のみ） | 23名（男9、女14） |

# 2．実証内容と成果

## 運営体制・役割

### ▼運営体制図（市区町村における推進体制図）




### ▼行政組織内での役割分担

- **教育委員会**（学校教育課）
  - 部活動の地域移行に係る総合窓口、全体コーディネート
  - 委託金・補助金の申請・報告
- **教育委員会**（生涯学習課）
  - 総合型地域スポーツクラブの支援窓口
  - 学校施設の利用規則整備
- **教育委員会**（教育総務課）
  - 部活動・中体連補助金の整備
- **首長部局**（政策企画課）
  - 企業版ふるさと納税、寄附金の総合窓口
- **首長部局**（議会事務局）
  - 他市町の議会視察対応窓口

## 年間の事業スケジュール

| 月 | 内容 |
|---|---|
| 4月 | ・地域スポーツ活動指導者研修会（コンプライアンス）<br>・長与町地域スポーツ活動（12種目）開始<br>・教育委員会・NSC幹部の情報共有・課題検討（月1～2回） |
| 5月 | ・部活動地域移行コーディネーターの就任<br>・令和5年度第1回検討委員会の開催 |
| 6月 | ・種目別指導者研修会の開催（6月～2月） |
| 7月 | ・令和5年度第2回検討委員会の開催 |
| 8月 | ・熱中症対策（注意喚起、製氷機、WBGT測定、巡回等）<br>・教育委員会・NSCの担当者定例打合せ実施（月1回） |
| 9月 | ・海洋スポーツ体験（SUP） |

| 月 | 内容 |
|---|---|
| 10月 | ・指導者研修会（大阪体育大学　10月～2月） |
| 11月 | ・教職員への満足度調査の実施 |
| 12月 | ・企業との三者連携協定式（企業版ふるさと納税　第1号）<br>・長与スポーツクラブフェスタの開催 |
| 1月 | ・指導者（リーダー・サブリーダー）説明会の実施<br>・生徒、保護者、管理職への満足度調査の実施<br>・新中学生・保護者説明会（3中学校） |
| 2月 | ・令和5年度第3回検討委員会の開催<br>・長与町地域スポーツ活動1周年記念イベントの開催<br>（石川佳純47都道府県サンクスツアーin長崎・長与町） |
| 3月 | ・事業完了報告書・成果報告書の作成・提出 |

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域スポーツクラブ活動の運営実績

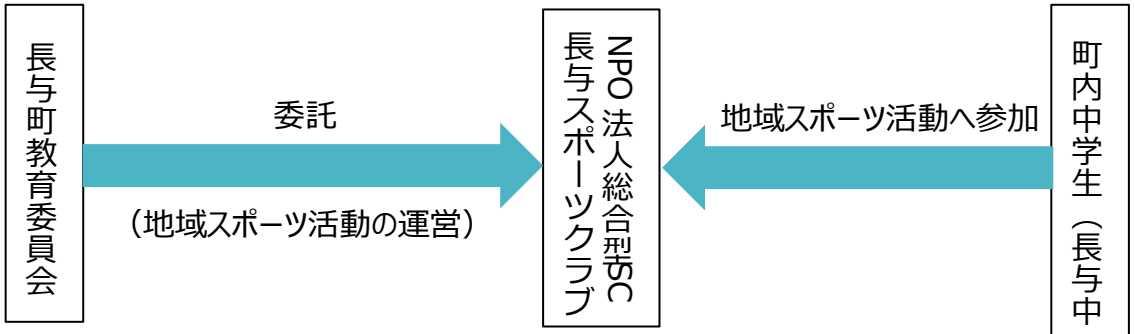
| | | | |
|---|---|---|---|
| 拠点校数 | ３校 | 地域クラブ活動に取り組んだ種目 | 卓球、バスケットボール、サッカー、陸上、バレーボール、バドミントン、ソフトテニス、硬式テニス、軟式野球、柔道、剣道、弓道の１２種目 |
| 地域クラブ活動に取り組んだ部活動数 | ４６部活 | | |

## 主な取組例

### ▼活動概要

| | |
|---|---|
| 拠点校名 | 長与中学校、長与第二中学校、高田中学校 |
| 地域クラブ活動に移行した部活動数 | ３部活 |
| 地域クラブ活動で実施した種目 | サッカー |
| 運営主体名 | NPO法人総合型SC長与スポーツクラブ |
| 運営類型 | 総合型地域スポーツクラブ運営型 |
| １か月あたりの平均的な活動回数 | サッカー：月６回程度 |
| 指導者の主な属性 | 教員 |
| 活動場所 | 長与中学校グラウンド、高田中学校グラウンド |
| 主な移動手段 | 徒歩、保護者送迎 |
| １人あたりの参加会費等（年額） | サッカー：36,000円／年（12か月） |
| １人あたりの保険料 | スポーツ安全保険<br>生徒１人あたり：800円/年<br>指導者１人あたり：1,850円/年 |

### ▼運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）




| 運営管理 | 具体的な業務内容 |
|---|---|
| 参加生徒管理 | 募集・入会手続き／名簿作成 |
| 指導者管理 | 確保／契約／活動方針の説明／活動チェック |
| 会計管理 | 帳簿作成／会計報告／月会費集金／謝金支払／物品購入／税金対応 |
| 会場管理 | 会場の確保／割当／周知／変更・中止連絡／会場費支払（学校以外） |
| 情報管理 | 生徒・保護者への連絡／指導者との情報共有／学校・町教委との情報共有 |
| リスク管理 | コンプライアンスの徹底／保険対応 |

■フルタイム職員1名
　月・火・水・金・土　8時45分～17時30分
■パートタイム職員1名
　月・水・金　14時30分～16時30分

# 2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ▼取組項目名：ア．関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

**取組事項**

・長与町内の3中学校とその教職員、部活動の地域移行に関する指導者・受け皿・関係団体との調整を行うコーディネーターを配置した。
- 地域スポーツ活動、学校部活動の巡回を通じて、リスクマネジメント、課題への対応を行った。
- 部活動の地域移行の様子を地域スポーツ活動通信として、月2回程度、情報発信を行った。
- 教育委員会とNSCの担当者による定例打合せを開催し、地域スポーツ活動の進捗状況を確認し、今後の対応を検討した。

| | 地域スポーツ活動、部活動の巡回 | 地域スポーツ活動通信の定期発行 | 教委会、NSCの定例ミーティング開催 |
|---|---|---|---|
| **取組の成果** | 【実績】<br>・コーディネーターは非常勤で、月水金の10時～16時、土曜の8時～12時に勤務<br><br>【成果】<br>・現場の巡回を通して、子どもたちの活動の様子の確認、指導者・保護者の声の聴取を通じて、取組の状況を把握することができた。 | 【実績】<br>・令和5年4月以降、地域スポーツ活動の様子やお知らせ等、毎月2回程度発行<br><br>【成果】<br>・年間を通して、定期的に20を超える情報発信を行うことができた。 | 【実績】<br>・8月以降毎月1回、地域スポーツ活動の状況について、学校教育課部活動の地域移行コーディネーター、生涯学習課スポーツ振興班、NSC担当者等の関係者で情報共有を図った。<br><br>【成果】<br>・コーディネーターが進行し、担当者が翌月の活動予定や、参加者や指導者等の声など活動状況を共有し、関係者間で確認することができた。<br>・熱中症対策、スポーツフェスタ等の準備・対応を円滑に行うことができた。 |
| **特に工夫した事項** | 【工夫】<br>・活動の巡回時は、新たな取組に対する生徒の様子を観察したり、顧問・指導者、保護者に対して、不安や課題がないかなど、寄り添った傾聴を心がけた。 | 【工夫】<br>・教育委員会のホームページに掲載するだけではなく、学校、長与スポーツクラブ（NSC）へも共有するとともに、保護者へ直接配信した。 | 【工夫】<br>・日程、議題、準備する資料について、事前に計画をして定例ミーティングを開催した。 |
| **今後の課題と対応方針** | 【今後】<br>・令和6年度から部活動の地域移行を所管していた学校教育課から生涯学習課スポーツ振興班に所管が移ることから、学校と地域のつなぎ役としてコーディネーターが連携拠点となって地域スポーツ活動の運営を支援する体制となる。 | 【今後】<br>・令和6年3月をもって、長与町の休日の地域スポーツ活動が1年を経過することから、教育委員会からの定期的な情報発信は一定の役割を終え、今後はNSCよる情報発信を予定している。（これまでも毎月のスケジュール等は、NSCから生涯学習課を通じて各小中学校へ配信） | 【今後】<br>・引き続き、コーディネーターを中心に情報共有を図る。 |

# 2．実証内容と成果

## 取組内容

### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

**取組事項**

・長与町地域スポーツ活動の指導者を確保した。
- 指導者90名（内　兼職兼業20名）、指導補助の大学生30名の計120名の指導者の確保し、NSCと契約した。
- 4月、2月に指導者研修会、指導者説明会を開催した。
- 兼職兼業ガイドラインを整備して、希望する教職員が地域スポーツ活動に参加できるよう整備した。

**取組の成果**

●確保した指導者

【実績】

| 種目 | 指導者 | 内　教職員(兼職兼業) | 大学生 | 計 |
|---|---|---|---|---|
| 卓球 | 12 | | 3 | 15 |
| 陸上 | 6 | (4) | | 6 |
| サッカー | 8 | (4) | 3 | 11 |
| バスケットボール | 5 | (2) | 1 | 6 |
| バレーボール | 6 | (3) | 4 | 10 |
| バドミントン | 13 | | 5 | 18 |
| ソフトテニス | 16 | (2) | 3 | 19 |
| 硬式テニス | 6 | (1) | 6 | 12 |
| 軟式野球 | 4 | (2) | 1 | 5 |
| 柔道 | 5 | (2) | | 5 |
| 剣道 | 6 | | 1 | 7 |
| 弓道 | 4 | | 2 | 6 |
| 計 | 91 | (20) | 33 | 124 |

【成果】
・地域スポーツ活動で実施する12種目の指導者を確保することができ、定期的に休日の地域スポーツ活動を実施することができた。

【工夫】
・指導者の確保にあたっては、公募は行わず、これまで学校部活動の外部指導者として協力していた方や保護者など、現在活動する指導者のネットワークを通じて確保した。
・大学生は、あくまでも指導者の補助という位置づけで、教育委員会が長崎大学のボランティア支援組織を通じて公募を行い、見学・体験を通じて、指導者と大学生のマッチングを経て確保した。

【今後】
・地域スポーツ活動に携わる指導者が、資格取得に向けた研修会等を受講することで、子どもたちの楽しいスポーツ環境をよりよくしていくことが求められる。研修受講や資格取得には、さまざまな費用が発生することから、係る費用の支援することによって、質の保証につながる。
・兼職兼業ガイドラインは、毎年更新を行う。

**特に工夫した事項**

**今後の課題と対応方針**

# 2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
**イ：指導者の質の保証・量の確保**
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ▼取組項目名：イ：指導者の質の保証・量の確保

**取組事項**

・JSPOの公認スポーツ指導者資格や大阪体育大学の運動部活動指導認定プログラム等、指導者の資質向上のための研修の受講を促進した。
- 10月から2月まで、大阪体育大学の運動部活動指導認定プログラムを開催し、受講料の一部を支援した。
- JSPOの公認スポーツ指導者資格等につながる指導者研修会の受講に対して、受講料の一部を支援した。
- スポーツデータバンク㈱、三井住友海上火災保険㈱、長与町との三者連携協定を通じて、指導者の資質向上のオンライン研修を開催した。

**取組の成果**

| 大阪体育大学の運動部活動指導認定 | 種目別指導者研修会の開催（R4補助事業） |
|---|---|
| 【実績】<br>・地域スポーツ活動に携わる14名の指導者が参加した。<br>・10月、2月のハイフレックスの授業では、大阪体育大学から講師陣が長与町に来て、実践指導等の研修が開講された。<br><br>【成果】<br>・12名が受講修了し、JSPOの資格取得見込み。<br>・種目別の指導者が同じプログラムを一緒に受講することで、指導者間の共通認識やネットワークを図ることができた。 | 【実績】<br>・種目別に計15回の種目別指導者研修会を開催した。<br><br>【成果】<br>・種目ごとのニーズに応じて、中学生世代への指導、審判研修、救命救急等の研修会を実施することができた。 |

**特に工夫した事項**

【工夫】
・受講料20,500円の一部（10,000円）を長与スポーツクラブが補助することで、指導者の負担軽減を行った。
・大阪体育大学の事務局と連携し、事務手続きやハイフレックス授業に向けた準備・調整を行い、参加する指導者が円滑に受講できるよう支援した。

【工夫】
・NSCを通じて、各種目の指導者（リーダー・サブリーダー）へ計画作成を依頼することで、各種目のニーズに応じた研修会を実施できるようにした。

**今後の課題と対応方針**

【今後】
・充実したプログラムで継続して実施したいが、ハイフレックスの現地開催など、指導者個人で負担する費用に加えて、受け皿が負担する費用があることから、希望者や予算の範囲内で、今後実施可能性を検討する。

【今後】
・引き続き、指導者が必要な研修会を受講・開催できるよう支援をしていく必要がある。

# 2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
**エ：面的・広域的な取り組み**
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ▼取組項目名：エ：面的・広域的な取り組み

**取組事項**

・長与町内すべての中学校（長与中学校、長与第二中学校、高田中学校）における休日のすべての運動部活動（46部活）を地域スポーツ活動へ移行した。
- 6月末までは中学1年生から3年生までの生徒約530名が参加した。
- 夏の中体連終了後、徐々に参加者が減少し、12月には中学1年生・中学2年生までの生徒約350名が参加した。
- 地域スポーツ活動の実績は、12種目21活動で計約1,200回（10ヵ月）を実施した。

**特に工夫した事項**

・屋外種目のサッカー、軟式野球、陸上、弓道、ソフトテニス、硬式テニスについては、雨天時に活動が中止になることがある。
- 屋外種目専用の連絡体制を整備し、雨天時の活動中止判断や連絡方法について方針を示して統一を図った。
- サッカーと硬式テニスについては、連絡ツールアプリのSgrum（スグラム）を導入し、スケジュール管理、保護者への連絡が取りやすくなった。

・天候や参加者不足等により、月に4回未満の活動実績となった場合は、参加費を減額して徴収した。
・夏の期間の熱中症対策として教育委員会、長与SCでミーティングを行い、活動中のWBGT値の測定、製氷機や塩分補給等飲料水の準備や対応を行った。
・種目別の特性がある中で、統一した方針等、長与SCから指導者のリーダー・サブリーダーに対して情報共有を図った。
・教育委員会、コーディネーター、長与SCの担当者の顔と名前が一致するよう、定期・不定期に活動を巡回し、コミュニケーションを図った。

**今後の課題と対応方針**

・令和６年度から学校教育課から生涯学習課へ地域スポーツ活動の所管が移ることに伴い、関係者が協力して対応していく。
- 生涯学習課スポーツ振興班の担当者の顔と名前を、地域スポーツ活動の指導者（リーダー・サブリーダー）に周知する。
- 部活動地域移行コーディネーターが、定期的な情報共有の場を設定するなど、学校と地域の連携拠点としての役割を果たす。
- 中体連が主催する大会参加規程の全国的な変更に伴う対応として、学校教育課、各中学校、地区中体連担当者、他市町のコーディネーターを含めた連携・情報共有を通じて、子どもたちが成果を発揮できる機会に円滑に参加できるよう調整を図る。

## ■取組の成果

## 種目別の地域スポーツ活動の参加者数推移と実施回数計（令和5年5月～令和6年2月）

| 2023年度参加者推移 | | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月～2月 | 活動回数計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 卓球 | 長与男子 | 18 | 8 | 9 | 9 | 9 | 7 | 7 | 7 | 64 |
| | 長与女子 | 15 | 15 | 15 | 14 | 9 | 9 | 9 | 8 | 64 |
| | 長与第二 | 21 | 21 | 21 | 19 | 19 | 18 | 18 | 17 | 64 |
| | 高田 | 7 | 2 | 2 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 5 |
| 陸上 | | 39 | 39 | 40 | 32 | 29 | 28 | 28 | 28 | 43 |
| サッカー | | 59 | 51 | 51 | 51 | 37 | 35 | 35 | 35 | 64 |
| バスケットボール | 男子 | 47 | 46 | 44 | 43 | 36 | 35 | 34 | 33 | 66 |
| | 女子 | 31 | 31 | 31 | 31 | 28 | 28 | 21 | 19 | 66 |
| バレーボール | 男子 | 24 | 23 | 23 | 22 | 19 | 19 | 19 | 17 | 66 |
| | 女子 | 23 | 16 | 13 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 63 |
| バドミントン | 長与男子 | 22 | 22 | 22 | 15 | 14 | 14 | 13 | 13 | 72 |
| | 長与女子 | 25 | 21 | 20 | 17 | 16 | 15 | 15 | 15 | 66 |
| | 長与第二 | 29 | 25 | 26 | 25 | 25 | 25 | 25 | 25 | 70 |
| | 高田 | 23 | 16 | 15 | 14 | 13 | 13 | 13 | 13 | 69 |
| ソフトテニス | 男子 | 26 | 26 | 30 | 27 | 27 | 27 | 28 | 27 | 59 |
| | 女子 | 36 | 26 | 26 | 28 | 28 | 27 | 27 | 25 | 58 |
| 硬式テニス | | 18 | 24 | 24 | 13 | 13 | 13 | 13 | 13 | 60 |
| 軟式野球 | | 27 | 22 | 22 | 16 | 14 | 13 | 12 | 12 | 63 |
| 柔道 | | 8 | 8 | 8 | 8 | 8 | 7 | 7 | 7 | 52 |
| 剣道 | | 10 | 8 | 4 | 3 | 2 | 1 | 1 | 1 | 44 |
| 弓道 | | 36 | 32 | 29 | 28 | 24 | 23 | 23 | 23 | 21 |
| 合計 | | 544 | 482 | 475 | 429 | 383 | 370 | 361 | 351 | 1,199 |

# 2．実証内容と成果

## 取組内容

### ▼取組項目名：オ：内容の充実

**取組事項**

・地域スポーツ活動において、世代間交流や親子で参加できるようなスポーツイベントを実施した。
- 9月に、大村湾において、海洋スポーツ体験（SUP）を実施した。
- 12月に、親子で参加できる長与スポーツクラブフェスタを実施した。
- 2月に、卓球の石川佳純さんを招いて、小学6年生を対象に卓球教室を実施した。

| | 海洋スポーツプログラム：SUP（サップ） | 長与スポーツクラブフェスタ | アスリートを招いた卓球教室 |
|---|---|---|---|
| **取組の成果** | 【実績】<br>・R5年9月に3回のプログラムを実施。<br>1回目：SUP体験会<br>2回目：上達を目的としたレッスン＆体験会<br>3回目：島一周等のショートコースクルージング<br><br>【成果】<br>・小学生4名、中学生1名、大人3名が参加<br>・参加者からは満足したとの声が寄せられた。 | 【実績】<br>・R5年12月17日（日）午後に開催<br>体験の流れ：３つのスポーツ体験が可能<br>例　13時00分～卓球 (町民体育館)<br>14時20分～テニス(町営テニスコート)<br>15時40分～サッカー(町営フットサルコート)<br><br>【成果】<br>・小学生25名、中学生6名、大人25名が参加<br>・フェスタ終了後、NSCの教室への参加希望の連絡があった。 | 【実績】<br>・R6年2月29日（木）午後に開催<br>・卓球教室（全員）、トークショー＆質疑応答、デモンストレーション等を実施<br><br>【成果】<br>・長与町立小学6年生約380名が参加<br>・卓球Cに参加する中学生約30名が参加 |
| **特に工夫した事項** | 【工夫】<br>・1回の体験ではなく、3回のプログラムを通じて、海洋スポーツを楽しみつつ、上達することが体験できるプログラムとした。<br>・長与スポーツクラブ会員は無料 | 【工夫】<br>・卓球、バドミントン、硬式テニス、ソフトテニス、サッカー、ダンスのうち、３つのスポーツ体験を可能とし、いろいろなスポーツに親しむ機会とすることした。<br>・参加費無料 | 【工夫】<br>・4月から新中学生となる小学6年生を対象に、トップアスリートと直接、スポーツを通じて触れ合う体験、スポーツについて語ってもらうこと。<br>・費用の一部に企業版ふるさと納税を活用した。 |
| **今後の課題と対応方針** | 【今後】<br>・中学生が参加して楽しいプログラムとなるよう工夫が必要。 | 【今後】<br>・開催時期を工夫して実施予定。 | 【今後】<br>・実施体制や財源等、地域スポーツ活動の12種目の中で実現可能性を慎重に検討していく。 |

# 2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
**カ：参加費用負担の支援等**
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組

スポーツ庁

## 取組内容

### ▼取組項目名：カ：参加費用負担の支援等

**取組事項**

・地域スポーツ活動に係る参加する困窮世帯に対する支援策について、長与スポーツクラブおいて検討し整備した。
➢ 月会費の一部を一時的に長与スポーツクラブが立て替えて支援する「地域スポーツ活動サポート基金（スポサポ）」を整備した。
・企業版ふるさとの納税や企業等からの寄附などの多様な財源の在り方の検討を行った。
➢ 長与町内企業（有限会社長崎井上様など）から長与町地域スポーツ活動の消耗品購入等に対する寄附をいただいた。
➢ 長与町外企業（三井住友海上火災保険㈱）から指導者研修の充実等に対して企業版ふるさと納税をいただいた。

| | 地域スポーツ活動基金（スポサポ） | 長与町内企業からの支援・協力 | 長与町外企業からの企業版ふるさと納税 |
|---|---|---|---|
| **取組の成果** | 【実績】<br>・長与スポーツクラブが、経済困窮家庭世帯への支援策を整備した。<br>・月会費3,000円を1,000円／月で参加することができる。<br><br>【成果】<br>・申請・承認を経て地域スポーツ活動に参加できた。 | 【実績】<br>・消耗品費購入に対する寄附(300千円)<br>・地域スポーツ活動1周年記念イベントに対する協賛品（8社）<br><br>【成果】<br>・スポーツ用品(用具・消耗品)を購入できた。<br>・長与町とゆかりのある企業と連携・協力して、地域スポーツ活動1周年記念イベントを盛り上げることができた。 | 【実績】<br>・地域スポーツ活動に係る三者連携協定の締結<br><br>【成果】<br>・企業版ふるさと納税による寄附(2,000千円)<br>・オンライン指導者研修会の実施<br>・アスリートを招へいしたスポーツイベントの開催 |
| **特に工夫した事項** | 【工夫】<br>・就学援助支援世帯の家庭への案内（申請書・要綱等）は、教育委員会から学校を経由して行った。<br>・子どもが20歳になる年度から、最長3年間かけて長与スポーツクラブに寄附する形で、持続可能な仕組みとしていく。 | 【工夫】<br>・購入したスポーツ用品と活動に参加する子どもたちの写真を撮り、お礼状を送付した。<br>・アスリートを招へいしたイベントをフックに、長与町の取組を説明し、協力・支援を依頼する機会を得た。 | 【工夫】<br>・課題解決に向けて、行政と企業が知恵を出し合い、子どもたちのスポーツ環境の充実に向けた効果的な取組を協議した。 |
| **今後の課題と対応方針** | 【今後】<br>・引き続き、希望する生徒が経済的理由で参加できないことがないよう、支援策を継続していく。 | 【今後】<br>・引き続き、長与町内外の企業とコミュニケーションを図り、取組に対する支援・協力が得られるよう努める。 | 【今後】<br>・引き続き、政策企画課と連携して、企業版ふるさと納税 |

# 2．実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保証・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取り組み
オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
**ク：その他の取組**

スポーツ庁

## 取組内容

### ▼取組項目名：ク：その他の取組

**取組事項**

・生徒、教職員、保護者等へのニーズ・満足度調査等を実施した。
- 11月に、教職員に対する満足度調査を実施した。
- 12月の検討委員会において教職員の満足度調査結果を共有し、取組の振り返りを行った。
- １月～２月に、生徒、保護者への満足度調査を実施した。
- 2月の検討委員会において、生徒・保護者の満足度調査結果を共有し、取組の振り返りを行った。

**取組の成果**

・生徒、教職員は満足しているが、保護者は活動場所への送迎負担もあり生徒・教職員に比べると満足度が低かった。
- 生徒の9割以上は地域スポーツ活動に満足しており、教職員の9割以上も部活動の地域移行の取組に満足している。
- 休日の部活動の地域移行の取組を通じて、教職員の働き方改革につながっている可能性が高い。
- 保護者は、参加費や送迎といった負担が増えていることから、生徒・教職員に比べ、保護者の満足度は低いが、8割程度は満足している。

**特に工夫した事項**

・アンケートへの回答率を高めるため、教職員と生徒・保護者のアンケート実施時期をずらしたり、回答率が上がるよう工夫を行った。
- 教職員へのアンケートは、途中段階で回答実績を学校へ連絡し、各中学校長から未回答者へ回答するよう連絡するようにした。
- 生徒へのアンケートは、学校に回答の協力依頼を行い、地域スポーツ活動の参加の有無に関わらず回答するように依頼をした。
- 保護者へのアンケートは、教育委員会から直接連絡が届く形で情報発信を行い、回答率が上がるよう努めた。

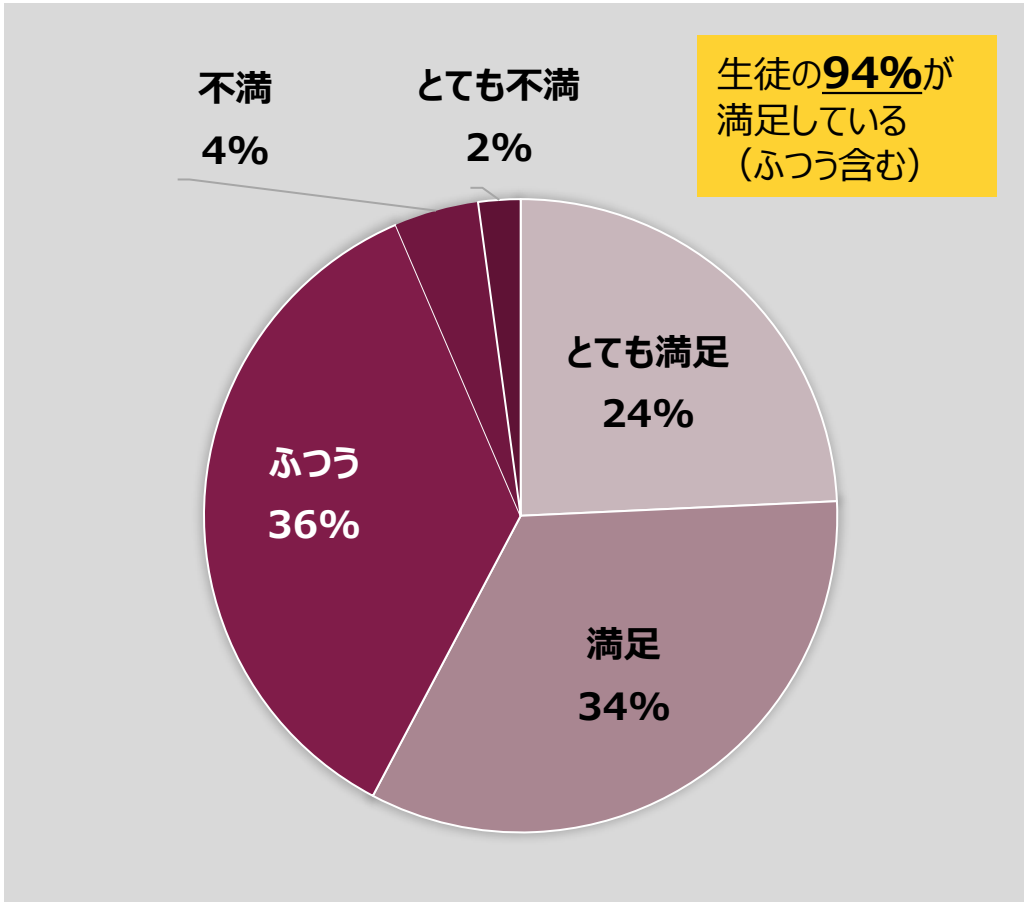
**今後の課題と対応方針**

・アンケート結果を踏まえ、地域スポーツ活動について理解が進んでいない部分など、FAQを作成し、長与町のホームページへ掲載する予定。
・アンケートの実施は、取組の状況を把握するよいツールであるが、調査する側、回答する側、ともに一定の負担がかかることから、必要最小限にする予定としている。（教職員への満足度調査については廃止し、超過勤務時間等の定量的なデータで対応する等）

# 2．実証内容と成果

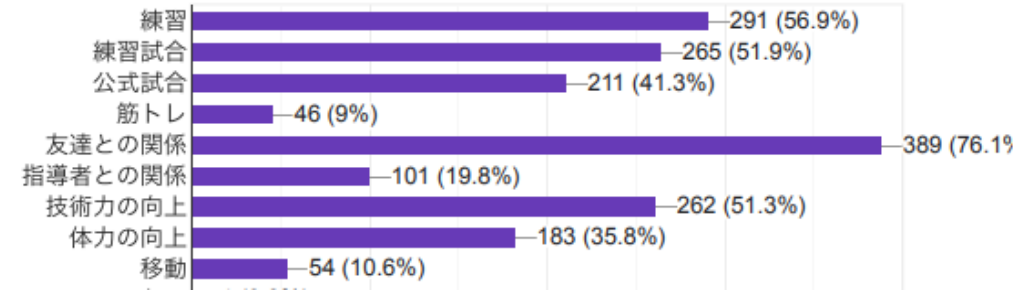
## 参考資料（生徒のアンケート結果）

実施時期　令和6年1月～2月
回答者数　全体771名（回答率71.5%）
　　地域スポーツ活動の参加者472名（回答率86.8%）

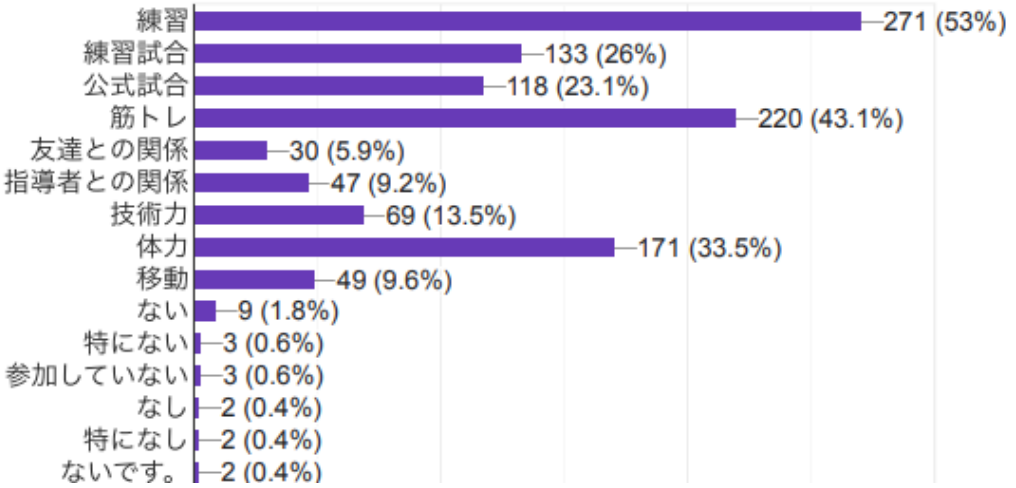



【生徒の満足度】

●休日の地域スポーツ活動で楽しいと感じる（感じたこと）【複数回答】



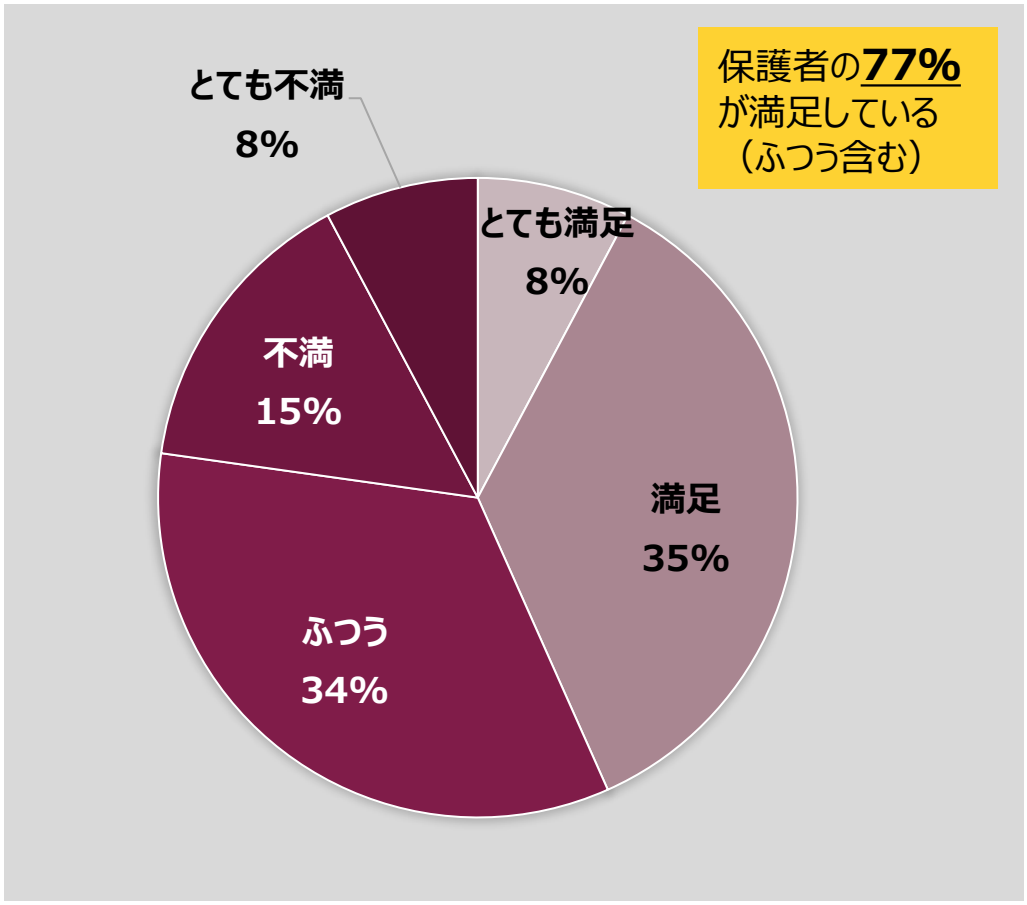

●休日の地域スポーツ活動できついと感じる（感じたこと）【複数回答】



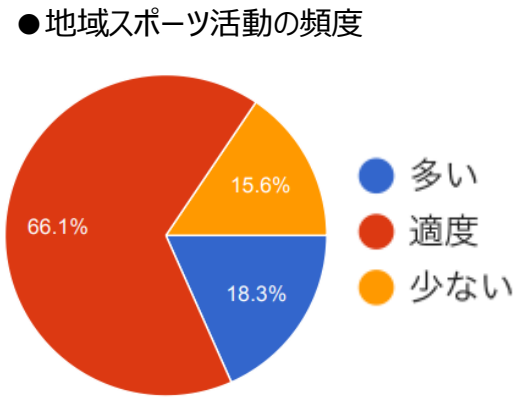
# 2．実証内容と成果

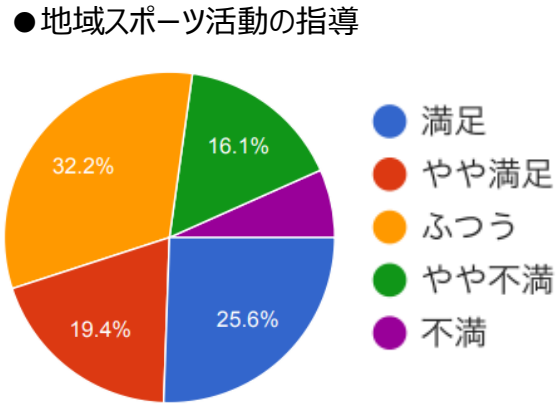
## 参考資料（保護者のアンケート結果）

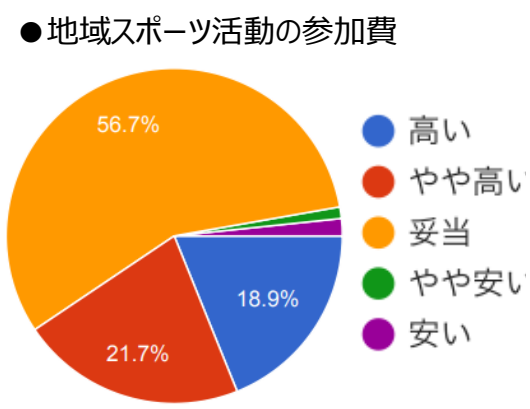
実施時期　令和6年1月～2月
回答者数　全体205（回答率19.0%）
　　地域スポーツ活動の参加者の保護者167名（回答率30.7%）

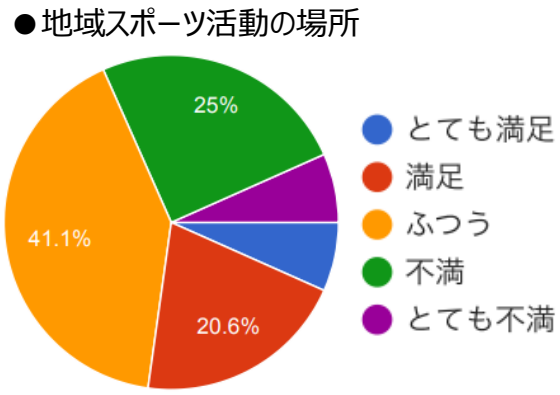



【保護者の満足度】



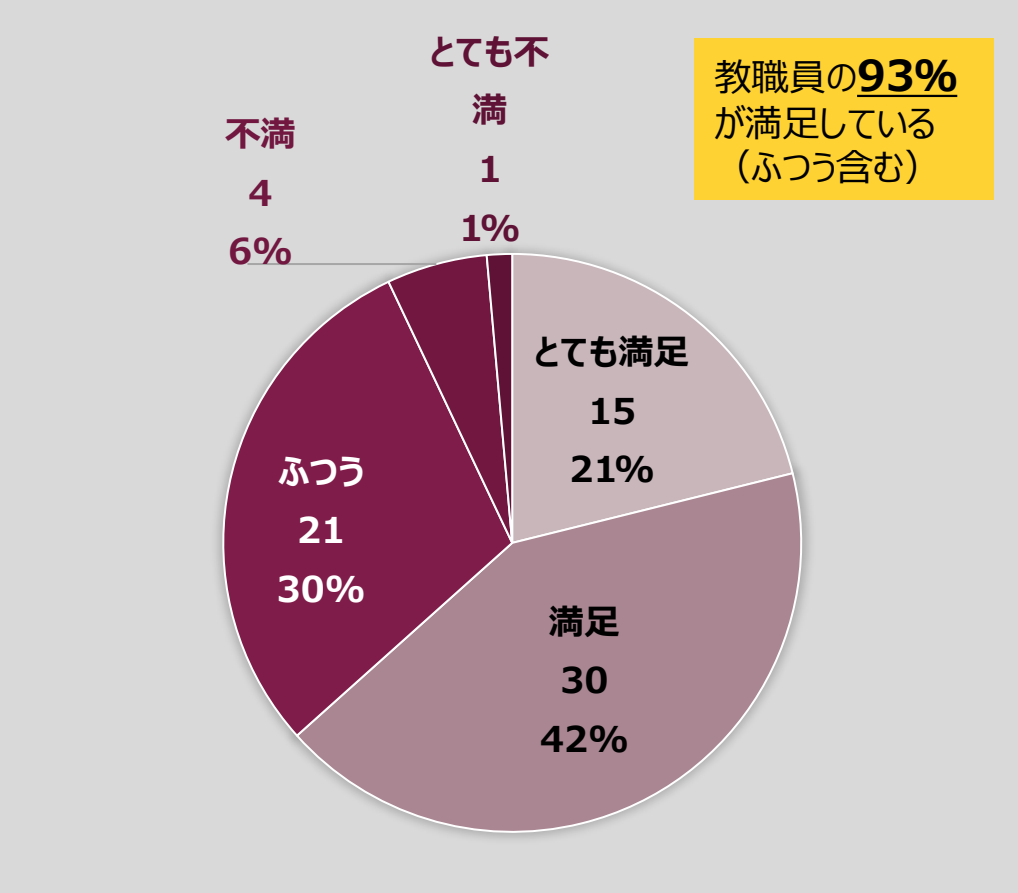
# 2．実証内容と成果

## 参考資料（教職員のアンケート結果）

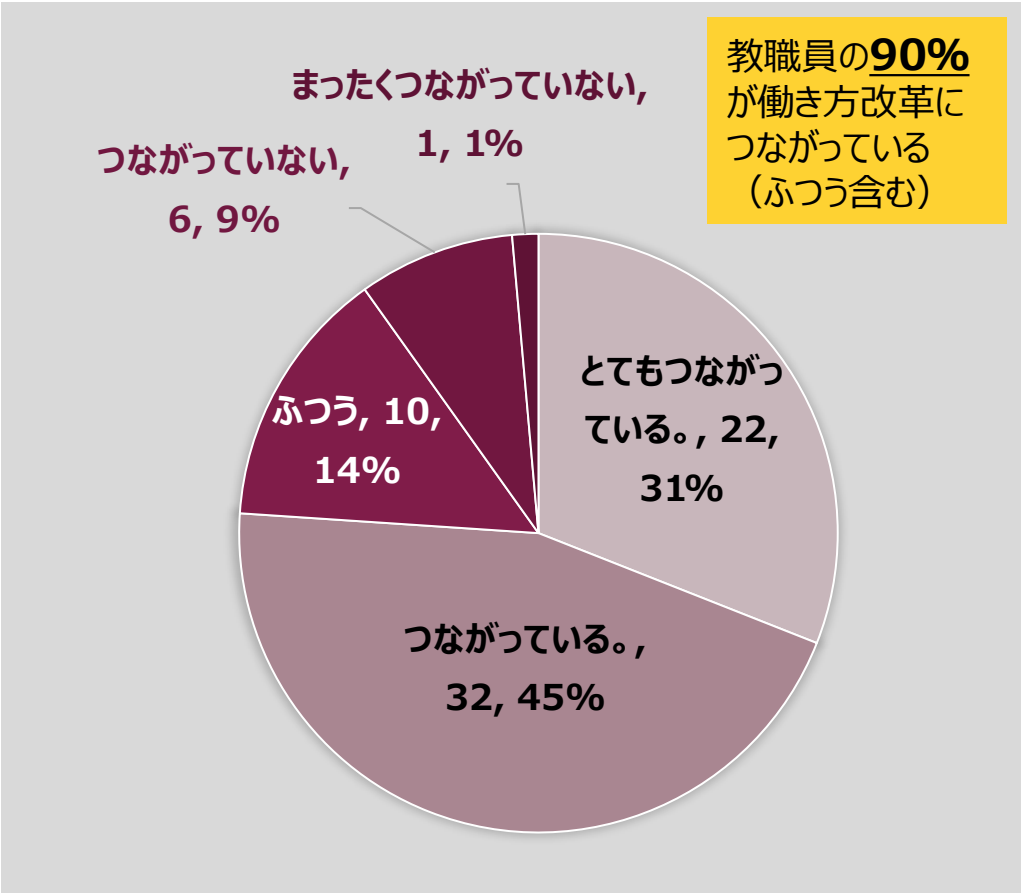
実施時期　令和5年11月～12月
回答者数　71名（回答率100%）

（参考）休日の地域スポーツ活動への教職員の関与形態と割合

| | | |
|---|---|---|
| ① | 顧問かつ兼職兼業している教職員 | 28% |
| ② | 顧問で兼職兼業はしていない教職員（情報共有実施） | 20% |
| ③ | 顧問だが情報共有を実施しない教職員 | 17% |
| ④ | 顧問ではなく、休日の活動も関与しない教職員 | 35% |




【部活動の地域移行に対する教職員の満足度】

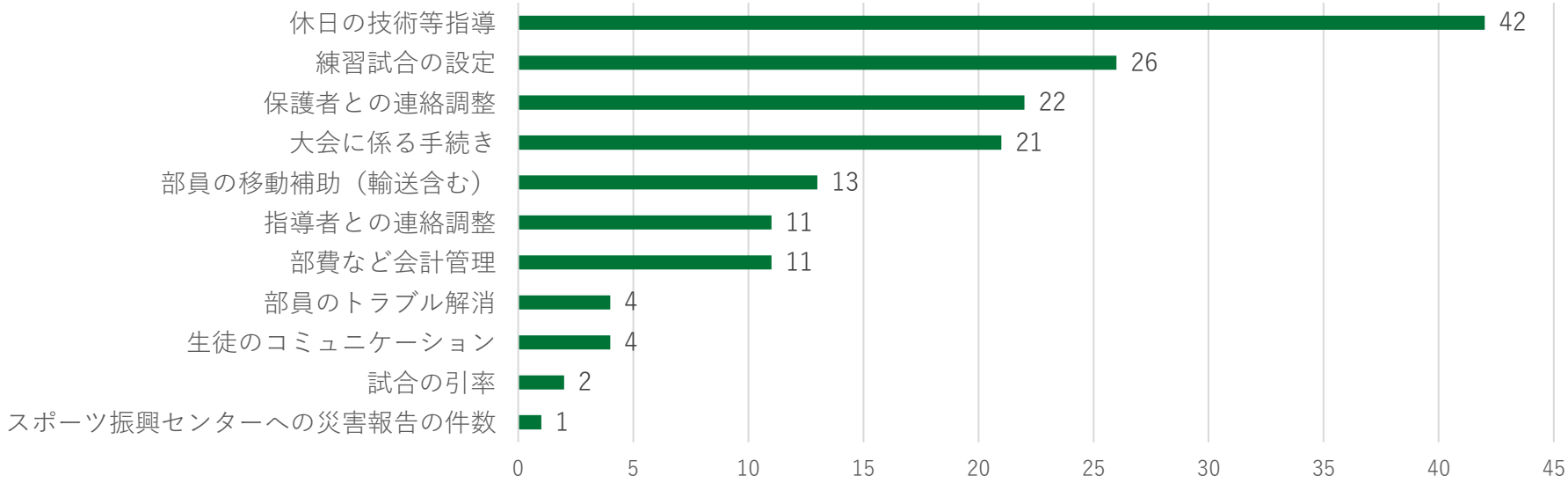



【教員の働き方改革につながるか（教職員の回答）】

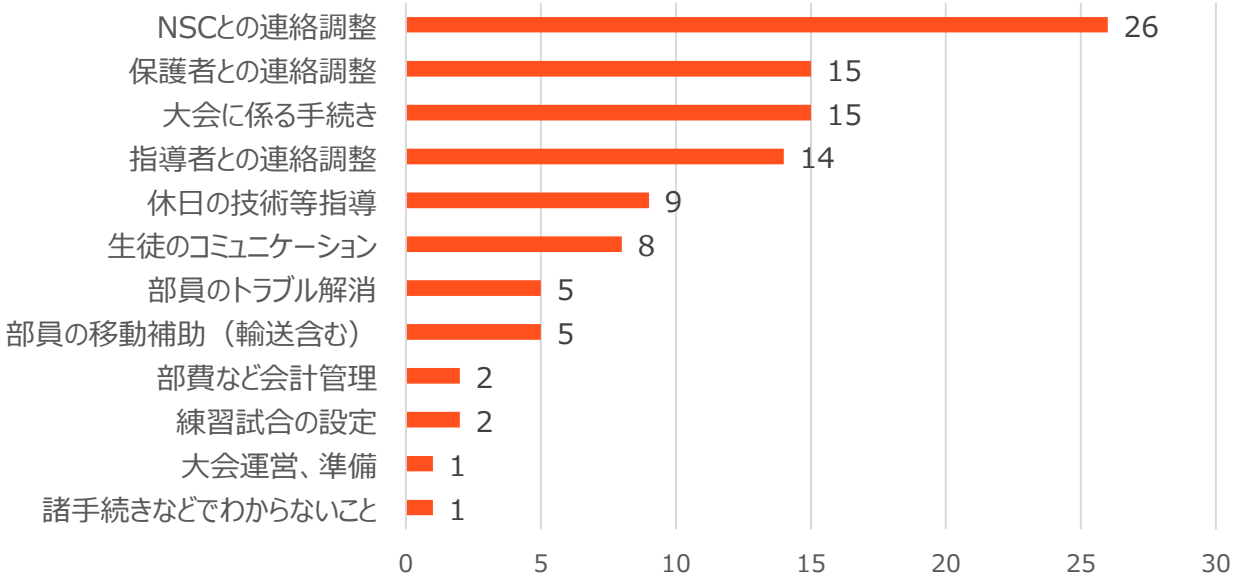
# 2．実証内容と成果

## 参考資料（教職員のアンケート結果）

■減った業務内容




■増えた業務内容



# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

## 参考資料（広報物）



長与町地域スポーツ活動通信　～部活動の地域移行に関するお知らせ～
2024年3月1日（金）　第22号

☆トップアスリートを迎えて☆

石川佳純47都道府県サンクスツアー　in 長崎・長与町　開催

2月29日（木）13：30より長与小学校体育館において、長与町地域スポーツ活動1周年記念として、昨年5月に現役引退した卓球の石川佳純さんをお招きして、町内5校の小学6年生を対象としたイベントを開催しました。トークショーでは、石川さんのこれまでの経験をもとに小学生からの質問に答えていただきました。世界ランク3位に入ったときの喜びや膝が悪く沈んだ時の我慢、夢を持って努力を続けることの大切さなどを伝えていただきました。

また、アシスタントのトップ名古屋　鈴木李茄さんとの実戦形式のゲームを見せていただき石川さんの技術の高さを実感するとともに、児童全員との卓球体験やクラス代表との卓球のゲーム、中学生卓球部の生徒たちと絆ラリーの挑戦など会場も大いに盛り上がりました。なお、会場では東京オリンピックで獲得した銀メダルを回していただき、一人ひとり手に取って、子どもたちからは、「重たいね」とか「大きいね」などの声も聞こえました。オリンピックメダリストとのふれあいの時間を楽しむイベントとなりました。石川佳純さんのお話を聞いたことを活かし、小学6年生には中学校入学後、スポーツや文化を通して自分の目標を見つけて努力する人に成長してもらいたいと思います。





短距離の走り方

2月24日（土）、かきどまり陸上サブトラックにおいて陸上Cの指導者研修会を開催しました。髙瀬　慧　氏をお招きし3時間あまり、楽しみながらのビルドアップや短距離走の基本などたくさんのことを教えていただきました。指導者にも生徒にも有意義な時間を過ごせました。



＝髙瀬　慧（たかせ　けい）　氏のプロフィール＝
○順天堂大学陸上部→富士通陸上競技部
○ロンドンオリンピック出場　200m　4×400mリレー
○リオデジャネイロオリンピック出場　200m
○世界選手権出場２回　100m、200m、リレーなど
※中学校時代は県大会予選で敗退するレベルだったそうですが、その後の努力で日本代表の座をつかみ取った選手です。



長与町の地域スポーツ活動は、参加者の皆様からの会費のほか、様々な財源で支えられています♡

MS&AD 三井住友海上　長崎井上　スポーツ庁 JAPAN SPORTS AGENCY　長崎県 NAGASAKI PREFECTURE

長与町では、随時、企業や個人の皆様からの寄附、企業版ふるさと納税など、受付をしております。

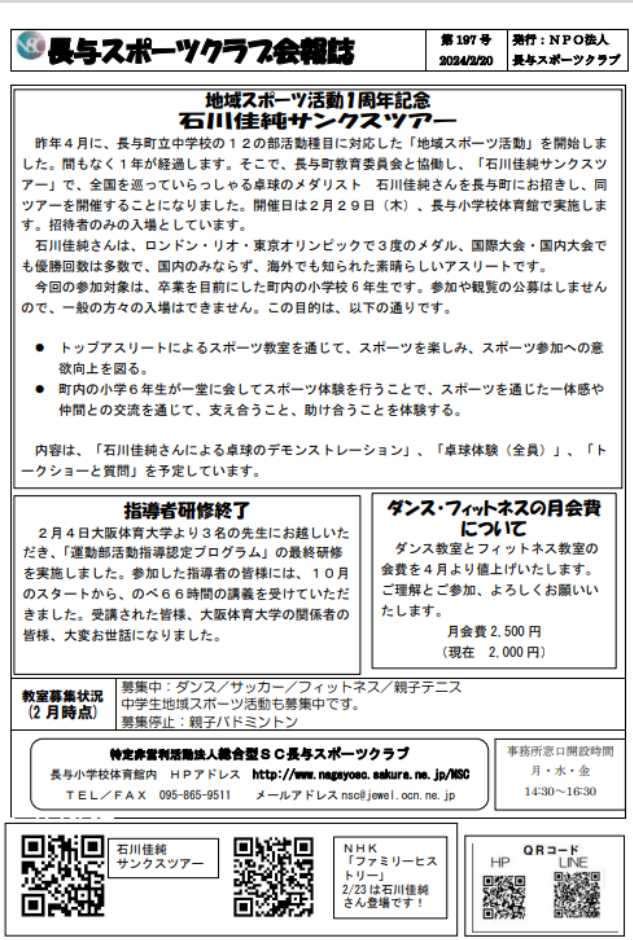
【本件お問合せ先】長与町教育委員会　学校教育課　部活動の地域移行担当
TEL 095-801-5681　FAX 095-883-7151　E-mail gakkyo@nagayo.jp

●長与町HP

●通信

概要　令和5年4月からの地域スポーツ活動に関するお知らせを掲載
内容　地域スポーツ活動の活動実績や活動予定など情報共有・報告中心
発行　2023年4月7日（金）～2024年3月1日（金）計22号
作成　部活動地域移行コーディネーター
発信　町教委から保護者、学校、長与SCに発信。長与町ホームページへ掲載

【長与町地域スポーツ活動通信～部活動の地域移行に関するお知らせ～】



長与スポーツクラブ会報誌　第197号　2024/2/20　発行：NPO法人 長与スポーツクラブ

地域スポーツ活動1周年記念
石川佳純サンクスツアー

昨年4月に、長与町立中学校の12の部活動種目に対応した「地域スポーツ活動」を開始しました。間もなく1年が経過します。そこで、長与町教育委員会と協働し、「石川佳純サンクスツアー」で、全国を巡っていらっしゃる卓球のメダリスト　石川佳純さんを長与町にお招きし、同ツアーを開催することになりました。開催日は2月29日（木）、長与小学校体育館で実施します。招待者のみの入場としています。

石川佳純さんは、ロンドン・リオ・東京オリンピックで3度のメダル、国際大会・国内大会でも優勝回数は多数で、国内のみならず、海外でも知られた素晴らしいアスリートです。

今回の参加対象は、卒業を目前にした町内の小学校6年生です。参加や観覧の公募はしませんので、一般の方々の入場はできません。この目的は、以下の通りです。

- トップアスリートによるスポーツ教室を通じて、スポーツを楽しみ、スポーツ参加への意欲向上を図る。
- 町内の小学6年生が一堂に会してスポーツ体験を行うことで、スポーツを通じた一体感や仲間との交流を通じて、支え合うこと、助け合うことを体験する。

内容は、「石川佳純さんによる卓球のデモンストレーション」、「卓球体験（全員）」、「トークショーと質問」を予定しています。

指導者研修終了

2月4日大阪体育大学より3名の先生にお越しいただき、「運動部活動指導認定プログラム」の最終研修を実施しました。参加した指導者の皆様には、10月のスタートから、のべ66時間の講義を受けていただきました。受講された皆様、大阪体育大学の関係者の皆様、大変お世話になりました。

ダンス・フィットネスの月会費について

ダンス教室とフィットネス教室の会費を4月より値上げいたします。ご理解とご参加、よろしくお願いいたします。

月会費 2,500円
（現在　2,000円）

教室募集状況（2月時点）
募集中：ダンス／サッカー／フィットネス／親子テニス
中学生地域スポーツ活動も募集中です。
募集停止：親子バドミントン

特定非営利活動法人総合型ＳＣ長与スポーツクラブ
長与小学校体育館内　HPアドレス　http://www.nagayosc.sakura.ne.jp/NSC
TEL／FAX　095-865-9511　メールアドレス nsc@jewel.ocn.ne.jp

事務所窓口開設時間
月・水・金
14:30～16:30

石川佳純 サンクスツアー

NHK「ファミリーヒストリー」2/23は石川佳純さん登場です！

QRコード　HP　LINE

●長与SCのHP

●会報誌

概要　長与SCの会報誌
発行　毎月1回（第3火曜）
作成　長与スポーツクラブ
内容　毎月の地域スポーツ活動のスケジュール掲載
発信　長与SCのホームページへ掲載。町教委から町内小中学校へ発信

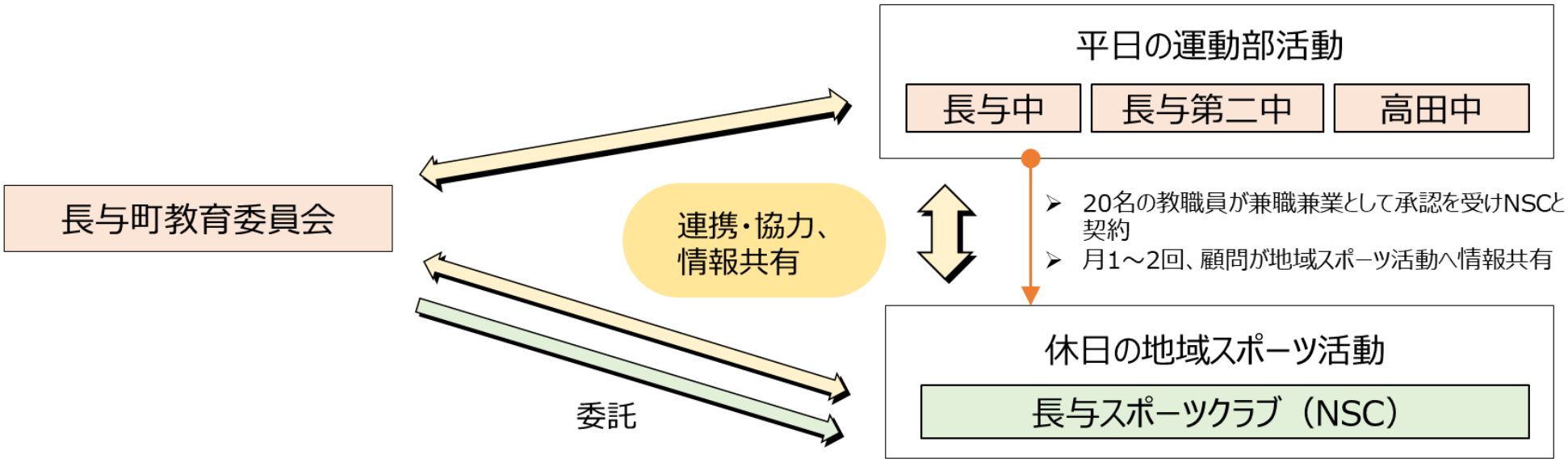
【長与スポーツクラブ会報誌】

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

**参考資料（令和5年度の長与町の取組成果説明資料）**

令和５年度の長与町の地域スポーツ活動の実施体制と取組①事務局体制・受け皿の基盤強化




事務局体制

**■長与町教育委員会の取組**

**部活動地域移行コーディネーターの配置**

・地域スポーツ活動における指導者、保護者へのヒアリング
・指導者研修会開催や大会参加に係る連絡調整
・地域住民向けの定期的な情報発信（通信）
・関係者による定例ミーティングの開催

**■長与スポーツクラブ（NSC）の取組**

**事務局長、フルタイム職員の配置・採用**

・地域スポーツ活動の運営全般に係る業務遂行
（会場確保、指導者謝金、参加費徴収等）
・会計処理：会計ソフト導入、税理士との配置
・事務効率化：十八親和銀行のこうふりネット
（電子決済、ビジネスバンキングの活用）

【他市町との意見交換や視察時の説明資料】

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

**参考資料（令和5年度の長与町の取組成果説明資料）**

令和５年度の長与町の地域スポーツ活動の実施体制と取組②指導者確保・指導者の質向上

指導者確保

**■長与町教育委員会の取組**

**指導者の量的確保、質的担保**

・4月に指導者研修会（コンプライアンス）を開催
・種目別の指導者研修会を年に2回開催（予定）
・大学生ボランティアの確保

●R5.4.2(日)、指導者研修会の開催



●野球Cの指導者研修会（審判研修）



●ソフトテニスC@県立大学テニスコート



●サッカーC@長与中学校



**■長与スポーツクラブ（NSC）の取組**

**公認指導者資格プログラムの開催、受講支援**

・大阪体育大学の運動部活動指導認定プログラムの開催
・認定プログラム受講費（20,500円）の一部支援

●10月、2月に大阪体育大学の講師陣が長与で研修会実施







・10月～2月、オンデマンド配信56時間
・10月、2月にハイフレックス10時間@長与町
・受講料　20,500円（令和5年度はNSCが内10,000円を補助）
・各種目1名以上受講予定（有資格者を除く）
・日本スポーツ協会公認指導者資格取得可能

運動部活動指導認定プログラム 2023（令和5）年度版 – 大阪体育大学 (ouhs.jp)

【他市町との意見交換や視察時の説明資料】

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

**参考資料（令和5年度の長与町の取組成果説明資料）**

令和５年度の長与町の地域スポーツ活動の実施体制と取組③財源確保

| | ■長与町教育委員会の取組 | ■長与スポーツクラブ（NSC）の取組 |
|---|---|---|
| 財源確保① | **国や県の委託金・補助金の活用、自主財源の確保**<br>・スポーツ庁の委託事業（R5年度10,660千円）<br>・スポーツ庁・長崎県の補助金（R5年度1,076千円）<br>・長与町の自主財源の確保（R5年度3,113千円） | **受益者負担、経済困窮家庭世帯への支援**<br>・月会費3,000円の徴収<br>・就学援助支援世帯に対しては、月会費2,000円の支援（地域スポーツ活動サポート基金） |
| 財源確保② | **企業版ふるさと納税、企業からの寄附**<br>・町内企業（有限会社長崎井上様）より300千円寄附<br>・町外企業（三井住友海上火災保険㈱様からの企業版ふるさと納税2,000千円寄附 | **企業による寄附・協賛**<br>・スポーツイベントへの企業からの寄附・協賛の検討<br>・マイクロバスへの企業からの寄附・協賛の検討 |

●有限会社長崎井上様からの寄附



●企業との三者連携協定



●マイクロバスに協賛企業の看板掲載




●スポーツフェスタに物品協賛（Sgrum）

【他市町との意見交換や視察時の説明資料】

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

**参考資料（令和5年度の長与町の取組成果説明資料）**

## 部活動の地域移行に係る三者連携協定（令和5年12月15日）

■長与町教育委員会の取組

長与町・スポーツデータバンク株式会社・三井住友海上火災保険株式会社

### 目的

相互の連携を強化し、部活動の地域移行を通じて、将来にわたり子どもたちがスポーツに継続して親しむことができる機会を官民で創出し、地域社会の持続的な発展に資する。



### 連携事項

（1）スポーツ指導者の質の保証や質の向上に関すること
（2）子どもたちがスポーツを楽しむ環境づくりに関すること
（3）持続可能な地域スポーツ活動の運営基盤の支援に関すること
（4）アスリートによるスポーツイベント等の開催による地域活性化に関すること
（5）その他、部活動の地域移行の推進に必要と認められること

### 効果

- スポーツ指導者の質の保証や質の向上
- アスリートによるスポーツイベントを通じた地域活性化
- 多様な財源確保



**お問合せ**

企業版ふるさと納税について　➡三井住友海上火災保険㈱公務開発部
三者連携協定に関する内容について　➡スポーツデータバンク㈱




【他市町との意見交換や視察時の説明資料】

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

**参考資料（令和5年度の長与町の取組成果説明資料）**

令和５年度の長与町の地域スポーツ活動の実施体制と取組④楽しみ中心・生涯スポーツ

**■長与スポーツクラブ（NSC）の取組**

## 海洋スポーツプログラム:SUP（サップ）

| | |
|---|---|
| 参加者 | 長与町内の中学生等 |
| 内容 | 2023年9月に3回のプログラムを実施。<br>1回目：SUP体験会<br>2回目：上達を目的としたレッスン＆体験会<br>3回目：島一周等のショートコースクルージング |
| 参加費用 | 3,000円（計3回）<br>SUPボード、パドル、ライフジャケット、保険料等<br>※長与スポーツクラブの会員は無料 |






## 長与スポーツクラブフェスタ

| | |
|---|---|
| 参加者 | 長与町内の中学生等 |
| 内容 | 2023年12月17日（日）にフェスタを開催。<br>スポーツ：卓球、バドミントン、硬式テニス、<br>ソフトテニス、サッカー、ダンス<br>体験の流れ：３つのスポーツ体験が可能<br>例　13時00分～卓球　（町民体育館）<br>14時20分～テニス（町営テニスコート）<br>15時40分～サッカー（町営フットサルコート） |
| 参加費用 | 無料 |





【他市町との意見交換や視察時の説明資料】

# 2．実証内容と成果

## 参考資料（活動写真）



①地域スポーツ活動の様子（弓道C）



②海洋スポーツプログラム：SUP（サップ）



③大阪体育大学の運動部活動指導認定（２月）



④長与町内企業からの支援･協力（寄附）

# 2．実証内容と成果

## 参考資料（活動写真）



⑤長与スポーツクラブフェスタ（ミニサッカー）



⑥長与町地域スポーツ活動１周年記念イベント
（石川佳純47都道府県サンクスツアーin長崎・長与町開催）



⑦三者連携協定と長与町外企業からの企業版ふるさと納税



⑧指導者（リーダー・サブリーダー）説明会

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

## 参考資料（取材等による取組の掲載実績）




⑨スポーツ庁の部活動改革ポータルサイト内で取組動画掲載
～生涯スポーツ社会の実現に向けた「地域スポーツ活動」への進化～
（2023年11月7日、スポーツ庁）




⑩文部科学省の広報誌ミラメク -未来の羅針盤内に写真・関連記事掲載
部活動改革～学校から地域へ、より豊かなスポーツ・文化芸術活動への扉～
（2023年秋号、文部科学省）




⑪【大阪体育大学】
長崎県・長与町で運動部活動指導認定プログラムの最終授業




⑫【Sgrum活用事例】休日の活動から地域移行を開始。
行政-学校-地域の密な連携でアイデアを出し合い課題を解決する
長与スポーツクラブ（長崎県）

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

## 参考資料（アスリートを招へいした記念イベント）

### ⑲石川佳純４７都道府県サンクスツアーin長崎・長与町(2024.02.29)

■名称／「長与町地域スポーツ活動１周年記念　石川佳純47都道府県サンクスツアーin長崎・長与町」
■対象／　長与町立小学校の小学６年生　約３８０名
（長与小・長与北小・長与南小・洗切小・高田小）
長与町立中学校の中学１・２年生　約３０名（卓球部）
■日時／令和６年２月２９日（木）１３時３０分～１６時４０分
■会場／長与小学校体育館
■主催／長崎県長与町教育委員会、NPO長与スポーツクラブ

**19県目は、閏年の閏日に、サンクスツアー最大人数の約400名との卓球教室を開催しました！**



石川佳純 JAPAN THANKS TOUR in長崎 47都道府県サンクスツアー 2024.2.29

**●47都道府県サンクスツアーについて**

石川佳純さんが、東京オリンピックを含む、過去3回のオリンピック、自身のキャリアを通じて経験した卓球の魅力、スポーツの楽しさを日本中の多くの方に伝えたいとの思いからスタートしているイベント

■趣旨　長与町は、中学生世代の部活動の地域移行を推進しており、長与町地域スポーツ活動の1周年記念事業として、長与町教育委員会とNPO法人総合型SC長与スポーツクラブの共催事業として開催

■目的　卓球が盛ん長与町では、部活動の地域移行を進めるきかっけとなった種目が卓球だったことから、石川佳純さんをお招きして、スポーツの楽しさや卓球の魅力を子どもたちに感じてもらい、参加した子どもたちが、将来にわたってスポーツに参加すること、スポーツに親しむことにつなげていくこと

■対象　長与町立小学校の小学6年生　約380名
長与町立中学校の中学1･2年生　約30名（卓球部）

■日時　令和6年2月29日（木）13:30～16:30

■会場　長与小学校体育館

■内容　卓球のデモンストレーション、トークショーと質問コーナー
卓球教室（全員）、セレモニー、記念撮影　等

**☆企業版ふるさと納税を活用した取組☆**

⑫石川佳純47都道府県サンクスツアーin長崎・長与町（2024年2月29日）
長与町地域スポーツ活動1周年記念として、長与町教育委員会・長与スポーツクラブの共催で開催

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

## 参考資料（学校だより一部抜粋等：アスリートを招へいした記念イベントについて）

学校だより
**まきのき**
令和　６年　３月　４日
Ｎｏ．１４
発行：長与町立長与小学校

### 石川佳純さん、ようこそ長与小へ！

卓球の選手として、ロンドン、リオ、東京と３大会連続でオリンピックメダリストとなられた石川佳純さんが、２月２９日（木）に長与小学校に来校されました。昨年５月の現役引退後も様々なメディアで御活躍ですが、現在、全国４７都道府県を回られて卓球やスポーツの魅力を伝える「サンクスツアー」を行っておられます。長崎県では長与町に来られることとなり、本校体育館を会場に、町内５校の６年生と卓球部所属の中学生が参加しました。

まずは、先日誕生日を迎えられた石川さんに、参加した児童生徒全員で「Happy Birthday Dear 佳純さーん♪」と歌のプレゼントをしました。その後のトークショーでは、御自身の経験を交えながら、各校から寄せられた質問に答えていただきました。

「自分にとってこれだと思うものに出会えるように『チャレンジ』をしていってほしい」
「夢や目標をもつことができたら、何で自分はこんなにエネルギーがわいてくるんだと思うことがある。チャレンジをしながら好きなことを見つけてほしい」

等、これからの中学校生活に向けて、たくさんの励みとなる言葉をいただきました。

卓球体験では、６年生全員が石川さんの球を２球ずつ打ち返すという貴重な経験をすることができました。参観していた大人たちが大変羨ましい様子だったのがとても印象的でした。石川さんと記念撮影をしたり、全員がラケットをいただいたりと、卒業前の大変素晴らしい思い出となりました。

⑬長与小学校学校だより　（2024年3月7日）

令和５年度　学校だより　No.１４
**南　陽　の　丘**
※「南陽の丘」は校歌より命名しています
3月 March
弥生（やよい）
令和６年３月１日
発行：長与町立長与南小学校

### 石川佳純サンクスツアーin 長崎・長与町



オリンピック卓球女子メダリスト石川佳純さんが、中学校進学を控えた６年生に、夢に向かう元気を届けに来てくださいました。

「チャレンジし続けることが大事。チャレンジするときは不安だけど、まずは飛び込んでみてそこで考える。」
「自分の頑張りと成績が比例しない時はぐっとこらえて、うまくいかない時も工夫しながら明日を楽しみにする。」
「嬉しいことも苦しいこともあるが、その経験が自分の力になる。全ての経験を味わいながらたくさん学んで自分の力にしてきた。」
「たくさん学んで、自信をもって自分で決めてきた。」
「今日の練習は、やり切ったと思えるくらいやる。」

素敵なお話、盛り上がった卓球体験を通して、夢のような、心が元気になる、学び多い時間が過ごせました。

この会は、長与町教育委員会をはじめ、たくさんのスポンサーの方のお力添えをいただいての開催であると聞いています。「地域の子どもたちは地域で育てる」を実践する長与町です。

⑭長与南小学校学校だより　（2024年3月1日）

# 2．実証内容と成果

スポーツ庁

## 地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

**令和2年度**

- 9月　文部科学省「第4回学校における働き方改革推進本部」にて休日の部活動地域移行が示される。
- 12月　卓球協会と長与スポーツクラブ（長与SC）による中学生卓球教室（週1回）開始。部活動との融合。
- 12月　教職員の兼職兼業に関する項目を長与町小・中学校管理規則に追加
- 2月　地域部活動推進事業の委託について長崎県教育委員会より打診を受ける。
- 3月　長与町内中学校卓球部に研究対象について長与SCより打診（長与中卓球部）

①教育委員会
- 意思決定／条件整備

②教育委員会と総合型クラブ
- 受け皿決定

③教育委員会と学校（校長会）との協議
- 休日の運動部活動廃止の合意形成

**令和3年度**

- 7月　長与中卓球部が休日地域部活動（委託研究）開始
- 9月　長与町地域運動部活動推進検討委員会（第1回）開催
- 9月　バスケットボールの休日地域部活動検討開始
- 12月　長与町地域運動部活動推進検討委員会（第2回）開催

④指導者確保（町教委と受け皿）
- 教室運営方法や役割分担の協議

⑤保護者説明（受け皿、町教委、学校）
- 教室運営方法や月会費など

**令和4年度**

- 6月　町内すべての中学校バスケットボール部が休日地域部活動（委託研究）開始
- 6月　長与SC・町教委による種目別顧問・外部指導者対象へ説明会実施
- 12月　スポーツ庁より「学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方に関する総合的なガイドライン」発表
- 12月　長与町地域部活動推進検討委員の計6回の会議を経て、「長与町運動部活動地域移行推進計画」策定、第1回地域スポーツ活動指導者説明会開催
- 2月　第2回地域スポーツ活動指導者説明会開催（令和5年度の年間計画作成、各種目のリーダー・サブリーダーの決定）

⑥参加者募集（受け皿）
- 入会届＆入会金＆保険加入

⑦調整（町教委、受け皿）
- 指導者確保

**令和5年度**

- 4月　休日のすべての運動部活動を地域スポーツ活動（12種目21活動）へ
- 12月　長与SCが長与スポーツクラブフェスタ開催（親子で参加、複数のスポーツ体験）
- 1月　町教委が生徒・保護者を対象に満足度調査を実施
- ２月　町教委と長与SCの共催で、長与町地域スポーツ活動１周年記念イベントを開催（小学６年生対象に卓球教室を開催）

⑧運営（受け皿）
- 効率の良い受け皿運営

# 3．今後の方向性

## 地域連携・地域移行の推進に向けた今後のロードマップ（2024年3月時点）

| 担当部局・受け皿 | 2023年度<br>R5年度 | 2024年度<br>R6年度 | 2025年度<br>R7年度 | 2026年度<br>R8年度 |
|---|---|---|---|---|
| 各中学校（3校） | 平日部活動 | 平日地域移行検討・準備（可能な種目から） | | |
| 長与町教育委員会<br>学校教育課 | 実証事業フェーズ<br>実証事業<br>12種目（休日） | 平日検討フェーズ<br>学校教育課から<br>生涯学習課へ | | |
| 長与町教育委員会<br>生涯学習課<br>(スポーツ振興班) | 委託<br>事業 | 実証事業フェーズ<br>財源確保検討<br>12種目<br>(休日＋平日検討) | 12種目<br>(休日＋平日検討) | 生涯学習課から<br>長与スポーツクラブへ |
| NPO法人総合型SC<br>長与スポーツクラブ | 実証事業<br>実証事業を通じて地域スポーツ活動を<br>自立運営できる受け皿準備 | 実証事業 | 支援 | 自立フェーズ<br>自立 |
| 備考 | **4月から長与町立中学校(3校)の休日の運動部活動は、すべて地域スポーツ活動へ** | 地域スポーツ活動の主担当が学校教育課から生涯学習課（スポーツ振興班）へ | 令和5年度から令和7年度までの改革推進期間終了へ | 令和8年度から地域スポーツ活動は受け皿によって自立した運営へ |